

カリキュラム

D. データ活用

データベースソフト活用

データベースを活用したデータ処理(応用編)

コースのねらい

業務の効率化を目指し、データベースソフトの機能であるデータ間の関係性を利用した処理や目的にあったデータの抽出・更新処理、ユーザの入出力画面の作成方法を習得する。

「基本項目」		「主な内容」	訓練時間(H)
講義内容	1	リレーションシップと参照整合性	2.0
	2	クエリの活用	7.0
	3	フォームの活用	3.0
合計時間			12.0

カリキュラム作成のポイント

データベースを構築することで、実践的に効率よく管理・活用ができる。データを効率よく入力する方法、データを一括で更新するアクションクエリの作成方法、明細行を組み込んだメイン・サブフォームやメイン・サブレポートの作成方法など、応用的かつ実用的な機能を説明する。また、データベースを活用するときに役立つ便利な機能や関数を学習することで、Accessの知識をより深めることができる訓練内容とした。

講師から一言

複数のテーブルを関連付ける参照整合性の設定、データの一括更新、メイン・サブフォームの作成方法など、応用的な操作ができます。